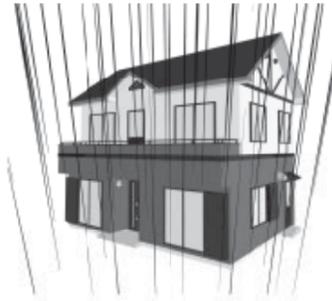


雨の強さと降り方（気象庁作成の解説表（平成14年一部改正）より抜粋）

1時間あたりの雨量	予報用語	人の受けるイメージ	災害発生状況
10～20(ミリ)	やや強い雨	ザーザーと降る。	長く続く時は注意が必要。
20～30(ミリ)	強い雨	どしゃ降り。	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる。
30～50(ミリ)	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。
50～80(ミリ)	非常に激しい雨	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）。	土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80(ミリ)以上	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。	雨による大規模な災害の発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要。



高潮による浸水被害（平成16年台風第16号）



干田川の水があふれ、川沿いへ土のうが積まれた（平成16年台風第21号）

風の強さと吹き方（気象庁作成の解説表（平成19年一部改正）より抜粋）

平均風速	予報用語	人への影響	屋外・植木の様子	建造物の被害
10～15(メートル/秒)	やや強い風	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	樹木全体が揺れる。電線が鳴る。	取り付けの不完全な看板やトタン板が飛び始める。
15～20(メートル/秒)	強い風	風に向かって歩けない。転倒する人もでる。	小枝が折れる。	ビニールハウスが壊れ始める。
20～25(メートル/秒)	非常に強い風	しっかりと身体を確保しないと転倒する。	樹木が根こそぎ倒れはじめる。	鋼製シャッターが壊れ始める。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。
25～30(メートル/秒)		立ってられない。屋外での行動は危険。		ブロック塀が壊れ、取り付けの不完全な屋外外装材がはがれ、飛び始める。
30(メートル/秒)以上	猛烈な風			屋根が飛ばされたり、木造住宅の全壊が始まる。



市が発令する避難情報

情報区分	人的被害の可能性	説明	市民の皆さんに求める行動
避難準備情報（要援護者避難）	弱	避難行動に時間がかかる人や要援護者（自力で避難ができない高齢者や障害のある人）が避難行動を開始しなければならない段階や、人的被害の発生するおそれが高まった状況で発令します。	・家族などと連絡を取り、非常持出品の用意などの避難準備を開始する。 ・要援護者など特に避難行動に時間を要する人は、計画された避難場所への避難行動を開始する。（避難支援者は支援行動を開始する。）
避難勧告	↓	通常の避難行動ができる人が避難行動を開始しなければならない段階や、人的被害の発生するおそれが明らかに高まった状況で発令します。	・計画された避難場所への避難行動を開始する。
避難指示	強	災害の前兆現象が発生したときや、人的被害の発生するおそれが非常に高まった状況や、人的被害が発生したときに発表します。	・直ちに計画された避難場所への避難行動に移る。 ・避難中の場合は、確実に避難を完了する。

※市が発令する避難情報は、避難を強制するものではありません。状況に応じて、自分の生命を守るために必要な行動を取ってください。

緊急速報メール（エリアメール）

市では、避難情報を「緊急速報メール」を利用し、市内の携帯電話に一齐配信します。なお、国が発令する緊急地震速報、津波関係警報、国民保護情報なども配信されます。
▷対象 配信時に、瀬戸内市域にあり、緊急速報メールが受信可能な携帯電話
※申し込みは不要です。また、受信料は発生しません。
※電波状況が悪い場合は、受信できないことがあります。
※一部対応していない機種や事前に受信設定が必要な場合があります。

■対応機種や操作方法についての問い合わせ先

- ①NTTドコモの携帯電話について
ドコモインフォメーションセンター
☎0120-800-000
- ②auの携帯電話について
KDDIお客さまセンター
☎0077-777
- ③ソフトバンクの携帯電話について
ソフトバンクカスタマーサポート
☎0800-919-0157



瀬戸内市メールマガジン

災害時には、避難情報のほか、道路の通行止め情報などを配信しています。

また、市の行イベント情報などについても適宜配信しています。お持ちの電子メールアドレスを登録して、ご利用ください。
HP <http://www.city.setouchi.lg.jp/i/>



携帯電話用QRコード

防災行政無線放送の自動再生

電話による防災行政無線放送の自動再生を行っています。放送が聞き取りにくい場合には、下記の電話番号から放送内容をご確認ください。

- ☎0869-22-0699
- ☎0869-22-0032



特集 災害に備える

近年多発する台風や集中豪雨は、今までの予想を超える大きさや強さでたくさんの方の被害を引き起こしています。また、津波など本市にも大きな被害をもたらすと予想される南海地震の今世紀前半での発生が懸念されています。

これまでの規模を超える台風・集中豪雨による被害発生の可能性

昨年9月には、台風第12号がゆっくり北上しながら岡山県に上陸しました。本市においても長時間にわたって大雨が降り、高潮や河川の氾濫により、家屋の床上・床下浸水の被害が発生しました。

続いて発生した台風第15号による集中豪雨でも、道路の冠水や土石災害の被害が発生しました。

近年では、平成16年8、9月にかけて次々に中国地方を襲った台風第16号など5つの台風が、甚大な被害をもたらしました。

な被害をもたらしました。

過去には、戦国時代や江戸時代にも、水害に見舞われた記録が残っています（17ページの瀬戸内発見伝をご覧ください）。

近年の気象状況を考えると、今後は、私たちが経験した水害や土石災害の規模を大きく上回る被害が発生する可能性があります。

台風・集中豪雨では、短時間のうちに局地的に激しい雨が降り、河川の氾濫や土砂崩れなどの被害が予想されます。

台風や大きな雨雲が近づいてきたら、雨量や周囲の現象に注意し、テレビやラジオ、防災行政無線のサイレンや音声で広報される情報に耳を傾けるようにしましょう。

台風・集中豪雨が発生もしくは発生するおそれがあるときは、気象情報や避難情報に注意



D I Gで通学路の危険箇所などを確認

今城地区の防災を考える研修会

市の西部に位置する邑久町今城地区は、南海地震による津波被害が想定されるほか、昭和20、51年の河川氾濫による大水害を経験している地域です。

今城地区では、「防災は地域全体で取り組む課題」という問題意識をもって、地域と小学校・PTAが連携して、毎年起こり得る風水害をテーマにした研修会を計5回行いました。



瀧本氏による防災講演

牛窓地域防災研修会

広域的に瀬戸内海に面する牛窓地域では、南海地震とその津波において、甚大な被害が予想されています。

研修会では、瀧本浩一氏が講演し、想定内のことに対応できるよう、普段から災害が起こったときのことを家庭や地域で話し合っておくことの重要性を話しました。また地域で開催する行事の中に、防災に役立つ活動につながるものが多いことを説明し、持続的に活動する自主防災組織の結成を呼び掛けました。

裳掛地区の防災を考える研修会

市の東部に位置する邑久町裳掛地区は、沿岸部があり南海地震による津波の影響を大きく受ける地域です。加えて中山間部では、水害・土砂災害も懸念されます。平成16年には高潮によって床上・床下浸水の被害を受けています。

裳掛地区では、各自治会によって想定される災害が異なるため、「自治会単位での動く自主防災組織づくり」をテーマにした研修会を計5回行いました。



車いすを使い高齢者を避難誘導

玉津地区地域防災研修会

市の東部に位置し、沿岸部がある邑久町玉津地区では、南海地震とその津波において、甚大な被害が予想されています。

玉津コミュニティセンターにて、南海地震とその津波をテーマに防災講演、災害図上訓練DIGを活用した研修会を行いました。

【DIGとは】
Disaster (災害) Imagination (想像力) Game (ゲーム)。
地域の地図を使って、地域の強みや弱み(道路や河川、海岸、危険な場所、一人暮らしの高齢者、安全な場所、拠点になりそうな場所など)や災害時に必要な情報を地図に書き込み、地域の災害時の被害を可視化し、具体的に対応を考える手法。



災害図上訓練DIGの実施

高潮などにより家屋が浸水被害を受けたとき

■問い合わせ先

- ・消毒薬や消石灰の配布について
健康づくり推進課 ☎0869-26-5962
- ・トイレ便槽のくみ取りについて
生活環境課 ☎0869-22-1899

総合防災訓練を実施します

市では、マグニチュード9.0の東海・東南海・南海の三連動地震が発生し、瀬戸内市で震度6強を観測、液状化、土砂崩れ、家屋の倒壊や建物火災、ライフラインの途絶があり、また沿岸部に大津波警報が発表され、3～5mの津波が襲来するとの想定で「第7回瀬戸内市総合防災訓練」を行います。

当日は、津波避難訓練、消火訓練、防災ヘリによる救助訓練などを行います。また煙体験や起震車での地震体験などの防災コーナーを設置します。皆さん、積極的にご参加ください。

▷日時 9月2日(日) 午前9時～

▷場所 牛窓中学校グラウンド

※小雨決行。ただし気象警報などの状況により中止する場合があります。

■問い合わせ先

地域安全推進室 ☎0869-22-3904

自治会などの地域活動における防災事前活動の一例

【災害前に役立つ活動】

- 溝掃除、除草作業
→地域を知る、水害危険箇所の確認、避難路の整備
- 敬老会
→災害時要援護者に対する防災情報周知、要援護者の確認

【災害後に役立つ活動】

- お花見、夏まつり、盆踊り大会
→発電機を含めた防災資機材の点検・運用練習、炊き出し訓練
- 親子料理教室
→料理づくりなどの炊き出し・非常食調理練習
- どんど焼き
→消火訓練、防火のための準備



日頃からの対策を万全に

本市では、洪水・土砂災害・津波高潮のハザードマップをホームページで公開しています。ハザードマップは、避難場所や津波・河川の氾濫・崖崩れなどが発生したときに予想される被害の程度などを示したものです。日頃から避難場所や避難経路の確認、家の周囲の点検や避難時の非常持出品の準備

HP <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

【気象庁ホームページ】

象庁が警報や注意報、気象情報などの防災気象情報を発表します。そのほか市が避難勧告などの避難情報を発令します。避難情報は、緊急速報メールや市メールマガジンでも配信します。

いずれも市民の皆さんの命を守るための情報ですので、用語やその意味について確認しておきましょう。天気予報などで用いる雨や風の程度を表わす用語、避難情報の区分などは、3ページの表を参考にしてください。また13ページの安全通信では、台風の危険半円について解説しています。

備などをしておきましょう。

【洪水ハザードマップ】

HP <http://www.city.setouchi.lg.jp/data/kouzui.html>

【土砂災害ハザードマップ】

HP <http://www.city.setouchi.lg.jp/data/dosya.html>

【津波高潮ハザードマップ】

HP http://www.city.setouchi.lg.jp/data/tsunami_takashio.html

自主防災組織の活動で被害を軽減

地域が組織的に防災・減災活動を行うことで、災害時における被害を軽減することができます。

市では、地域が自発的に防災活動を行う「自主防災組織」の結成や活動の活性化を図るため、各地域で年間を通じて防災研修会を開催しています(上の記事を参照)。

詳しくは、市ホームページ・防災のすすめ「自主防災会ニュース」をご覧ください。

HP <http://www.city.setouchi.lg.jp/bousai/>

■問い合わせ先

地域安全推進室
☎0869-22-3904